

逆L型Vタッチウォール(道路用) (道路用逆L型多用遮擁壁)

北海道 東北 関東 北陸 中部
近畿 中国 四国 九州 沖縄

※取扱地区の詳細は支店・営業所にお問い合わせ下さい。

逆L型Vタッチウォール(道路用)は、隣地境界が擁壁背面にあり、擁壁背面側に底版を出せない場合に用いる擁壁です(通常L型擁壁と設置の仕方が逆向き)。「道路土工 擁壁工指針(平成24年度版)」に準拠しているため、主要道路等に安心してご使用いただけます。Vタッチウォール(道路用)同様、自由度が高く、様々な条件に対応可能です。



下水道製品・浸水対策製品

道路・造成 水路関連製品

建築関連・その他製品

斜面・防災製品

工法・工事・RFID製品

付録

■ 特長

- 「道路土工 擁壁工指針(平成24年度版)」に準拠しています。
- シンプルな形状で自由度が高く、急勾配の天端斜切りや通常では難しい加工でも対応できます。
- 天端斜切りに加え、P種(自歩道)のフェンス穴加工ができます。

- 厳しい設計条件の場合には製品壁厚をランクアップしたり、底版を伸ばしたりする検討も可能です。
- 製品規格は擁壁高3000mmまでですが、それを超える場合でも設計条件によっては対応可能です。

■ 設計条件

■ 荷重条件(道路)

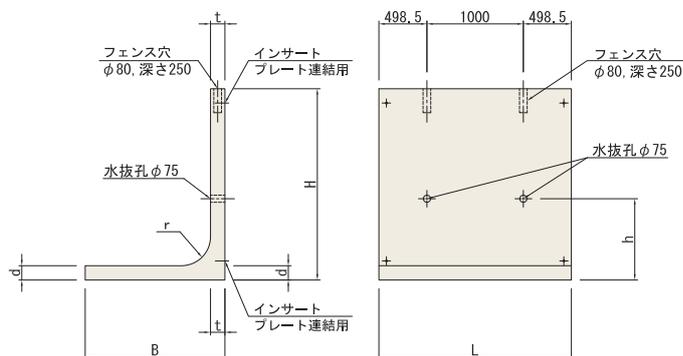
項目	数値
載荷重 q	10kN/m ²
裏込め土の内部摩擦角 ϕ	30°
// 単位体積重量 γ_s	19kN/m ³
コンクリートの単位体積重量 γ_c	24.5kN/m ³
土圧算定式	試行くさび法
支持地盤の摩擦係数 μ	0.6
防護柵(自歩道)荷重 P_f	P種(水平力390N/m, 垂直力590N/m)
地震時設計水平震度 kh	考慮しない

■ 安全率・許容応力度

項目	常時	フェンス荷重時	
		常時	フェンス荷重時
擁壁の安定性	滑动安全率 F_s	1.5以上	1.2以上
	転倒偏心距離 e (m)	B/6	B/3
	最大地盤反力度 (kN/m ²)	基礎地盤の許容鉛直支持力度 q_a 以下	
部材の安全性	コンクリート設計基準強度	40N/mm ²	
	許容圧縮応力度 σ_{ca}	14N/mm ²	21N/mm ²
	許容せん断応力度 τ_{a1}	0.27N/mm ²	0.41N/mm ²
	鉄筋の種類	SD295A, SD345	
	許容引張応力度 σ_{sa}	160N/mm ²	270N/mm ²

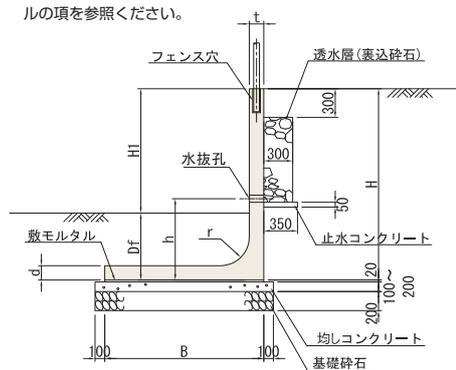
■ 形状および寸法

■ 製品形状



■ 標準施工図

逆L型Vタッチウォール(道路用)の施工フローおよび標準施工材料・歩掛は、Vタッチウォールの項を参照ください。



(単位: mm)

擁壁高H	底版幅B	製品長L	前壁厚t	底版厚d	ハンチr	見え高H1	根入れDf	水抜高h	参考質量(kg)
1,000	750	1,997	150	150	300	350以下	650以上	—	1,300
1,250	1,000	1,997	150	150	300	550以下	700以上	850	1,670
1,500	1,250	1,997	150	150	300	750以下	750以上	850	2,050
1,750	1,500	1,997	150	150	300	950以下	800以上	1,100	2,420
2,000	1,800	1,997	150	150	300	1,150以下	850以上	1,100	2,830
2,250	2,050	1,997	150	150	300	1,350以下	900以上	1,100	3,210
2,500	2,200	1,997	200	200	300	1,550以下	950以上	1,100	4,600
2,750	2,500	1,997	200	200	300	1,750以下	1,000以上	1,100	5,150
3,000	2,800	1,997	200	200	300	1,950以下	1,050以上	1,350	5,700

(注) 水抜高およびフェンス穴(オプション)の位置は変更可能です。営業担当者にお問合せ下さい。